本日、東洋大学附属牛久中学校第11回入学式、牛久高等学校62回入学式にあたり、一言ご挨拶いたします。多くのご来賓、保護者の皆様のご臨席をいただきまして、盛大かつ厳粛に挙行できますことは、本校として慶びとするところです。壇上からではございますが、心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、担任の先生から氏名を呼ばれました中学校63名、高等学校581名の新入生の皆さん、入学、おめでとうございます。保護者の皆様におかれましてもお子様のご入学、誠におめでとうございます。私たちは、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

本校は1964（昭和39）年に創立され、昨年六十周年を迎えました。中学校は本校創立五十周年を期して、2015（平成27）年に開校して、今回11期生を迎えることとなりました。

哲学館・東洋大学を創立した井上円了先生は、「諸学の基礎は哲学にあり」として、「独立自活」「知徳兼全」の精神を培うことを目指してきました。

井上円了先生の建学の精神を基礎として本校の教育目標は、

- 一 知的好奇心と高い志をもち、自ら考え、自ら行動する意欲溢れる生徒の育成
 - 二 深く考える力と本質に迫る健全な批判精神を培い、将来社会に貢献できる人材の育成
- を目指しています。

学祖井上円了先生は、「哲学は知りたいという気持ちであり、それを究めていくことが真理に至ることであり、哲学は結論ではなく出発点である」とされました。その著書『純正哲学講義』の中で、哲学から得られることは、「思想を精密にする 情操を高尚にする 道徳的理想力を増進する 志望を遠大にする 精神を安定する」の五つにまとめられました。

また、円了先生は、最初の欧米視察では「欧米各国のことは日本に安座して想像するとは大いに異なるもの（海外のことは日本にいて想像するだけではなく、実際に見て体験しないとわからない）」として、「体感」の必要性を実感され、現実世界を活きたテキストとして学び、活きた学問とする「活書活学」を提唱されました。

これから本校では、体験を重視して、「探究」と「ウェルビーイング」を柱として教育活動を展開していきます。さらにICT、AIなどデジタル技術を活用して、学びや真理に迫る姿勢の育成のための取組、解決の手段を学んでいこうと考えています。

このためには、附属校の特性を生かして東洋大学各学部との連携教育を強化するだけでなく、つくばの研究機関やJICAとの連携からサイエンス教育を充実させていきます。

そのうえで円了先生の考えを踏まえて、哲学教育を出発点に探究していく姿勢を育て、そのことを通じて、安定した精神から情操を高尚にして、創造力を高め、精密な思想を構築して、未来を展望する人材を育成していくことを目指しています。

また、将来を見通したキャリア形成のために、体験的な活動と哲学教育を基礎に、探究的な学習を進め、文理融合の課題解決型STEAM教育を展開するとともに、アントレプレナー教育を行い、物事の本質に迫る教育を進めて参ります。これらの教育活動を通じて「地球規模で思考のできる真の国際人」を育てることを目指していきます。

自ら学び、これからのグローバル社会でたくましく生き抜くとともに、自立した社会人として積極的に自分の役割を果たす人間になること。地球規模での課題を解決していくためには、21世紀に生

まれ、21世紀の社会を支えていく皆さんの一人一人の力にかかっています。

江戸時代末期、越前藩（現在の福井県）の武士で橋本左内という人物がいました。橋本左内は二十代早々に越前藩の藩校明道館の御用掛り・学監同様となり、藩校の中心となって越前藩士たちを教育、指導を行いました。その後、江戸詰めとなり、侍読兼御内用係を務め、藩主松平慶永（春嶽）の側近として藩の政治、幕末の政局に大きな関わりをもちました。しかし、江戸幕府の大老井伊直弼による安政の大獄で、数え年26歳で、この世を去りました。左内は13歳から15歳の間、つまり現在では中学生の時代に相当しましょうか。大人になる決意として、「啓發録」という書物をまとめました。当時の人たちの精神年齢は高く、十代前半というよりもすでに大人の風格があります。

左内は大人になるための決意を五つの事柄にまとめました。

その第一には去稚心「稚心を去る」です。

去稚心とは幼い心を捨てる。子供っぽい心を捨てるということです。

第二が、振気「気を振るう」

負けじ魂と恥を知る気持ちを振るい立てて努力する。

第三が、立志「志を立てる」

自分の進む道に対する決意を固める。

第四が、勉学「学問につとめる」

先人の立派な行いに習って勉強に励む。

第五が、擇交友「交友を擇ぶ」

自分にとって大切な友人を選んで交際を深める。

ということです。そして、「勉強するということは、ただ技術を習ったり、知識を暗記したりするだけのことではなく、正直で誠実な心を持ち、人として正しい行動ができるようにするためのものである。」と記しています。さらに、「おさな心を克服し、親から自立しなければ、自分の道を歩むことはできない。」とも述べています。

これからの学校生活について、皆さんは橋本左内のように、自分自身の行動規範をしっかりともち、将来のあり方生き方を考え、夢や希望を実現するために、よく学び、仲間と協力し、心も体も鍛えていきましょう。そのためにも、望ましい生活習慣を身に付け、節度を守り心身ともに健康な生活を送るよう心掛けてほしいと願います。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、改めて誠におめでとうございます。子どもたち自身も、今日のこの日を迎えて、一歩大人に近づいた、成長したということを実感していることと思います。

子どもたちの健やかな成長のためには、学校・家庭・地域の三者が、それぞれ連携していく必要があります。お子様の学校生活で、ご心配やまたご不安なことがあれば、どうぞ遠慮なくご相談ください。

私どもは、保護者の皆様とともに、子どもたちの豊かな成長を助けていきたいと考えています。そして、6年後、3年後には成長した姿を祝っていただきたいと思っております。

結びに、保護者の皆様、本校の教育に、一層のご理解とご協力を賜りますよう改めてお願いを申し上げます。本校に対する皆様方のご期待に応える教育を進めていくことを、ここにお誓い申し上げて式辞といたします。